

項目	観点	図画工作(9・開隆堂)	図画工作(116・日文)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成するために、どのような配慮がされているか。	<p>○1・2年下「ならべて見つけていろいろ色水」では、いろいろな色水をつくることで、混色だけでなく、重ねること生まれる効果について理解を深められる。また、さまざまな色水で何ができるかについて考えるのもよい。</p> <p>○3・4年上「生まれ変わったなかまたち」では、衣料系の廃材から愛着をもつことができる造形を進めていくというSDGsを意識した題材となっている。身の回りにある不要物について、改めて利活用の方法を考えるという教科横断的な内容となっている。</p> <p>○5・6年上「小さな美術館 動きやリズムを感じて」では、現代アートを取り上げている。面ではない線のさまざまな組み合わせから生まれる表現から、どんな感情が生まれ、環境にどのような変化を与えるか考えを広げていく活動ができる。</p> <p>○図画工作の学習が社会とかかわる事例や取組を「つながる造形」として設定し、SDGsにかかわる内容を取り扱っている。学年を追うごとに、どんどん広く社会へ広げていく構成となっている。</p>	<p>○生活の中で身近にあるものを材料に創造をする題材の提案が、各ページの上に掲載されている。そのため、創造活動を行うにあたり、生活や社会の中の形や色などと関りをもつことにつながる。</p> <p>○SDGsに関わる多くの課題について児童が関心をもって取り組める課題を取り上げている。1・2上「ずこうのみかた にて いる もの なあに」の題材では身の周りの似ているものを探しながら様々なことを感じ取る学び。3・4上「土を感じて」の題材では自然を大切に作る心を育てるため、身近な自然に触れる学び。5・6下「自然を感じるすてきな場所で」の題材では、自然の材料を生かして場所をつくりかえることを楽しむ学び。</p> <p>○中学年から高学年の題材で、地域の施設を利用した展示会や、地域のキャラクターをつくるなど、地域を大切に作る心を育てる学びにつながる題材が充実している。</p> <p>○地域の美術館を楽しむためのポイントが5・6上「広がる図工 美術館へ行こう」で掲載されていて、地域のよさを再確認できる。</p>
2 内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のためにどのような工夫が見られるか。	<p>○1・2年上「おしえてみんなのすきなもの」では、道徳とのコラボレーションにより、新しい友達との関係づくりの役割を果たしている。発表会を行い、伝える楽しさ、自分を受け入れてもらった満足感、友達の好きなものを知る喜びなどを味わうことで、豊かな学校生活の第一歩が踏み出せる内容となっている。</p> <p>○3・4年下「むすんでつないで」では、仲間と協力して枝を集め、つないだり結んだりして共同作品を作るだけでなく、作品が置かれた場所が変化していくことを楽しむ。この学習から、さらにどんなことができるかを考えさせていくことで、社会科と関連させて、生活と木のかかわりを考えていく活動につなげていく内容となっている。</p> <p>○5・6年下「いつもの学校が変身」では、学校の特別教室や空間の特徴をディフォルメできるアイデアを出し合い、友達と力を合わせて変身させることで、造形や表現の楽しさを学校に広げ、たのしい学校を演出できる内容となっている。</p> <p>○どの題材も、指導者が使いやすいような配慮がなされている。学習のめあてがわかりやすく、大事なポイントをキャラクターがガイドしているので児童に伝わりやすい。タブレット端末でワークシートに入力できるので、評価と指導の一体化が図れている。また、言語活動やコミュニケーションを使った題材、共同で行う活動や他者とつながる題材を取り入れており、対話を通してより深い学びができるように工夫されている。</p>	<p>○児童が驚き・興味を示すような参考作品を掲載することで、創造活動への意欲を喚起し、発想・構想の能力を高めることに配慮している。</p> <p>○6年間を通して同じ材料や用具に繰り返し関わられるように、題材を系統的に設定している。発達段階に応じて学びを深めていくことができるような配慮が見られる。</p> <p>○「学しゅうのめあて」が6年間を通して、全ての題材に発達段階に応じて児童にわかりやすく掲載されているので、主体的かつ深い学びにつながる。</p> <p>○「吹き出し」には特に大切なめあてのヒントが入っており、発想・構想の能力の育成に配慮している。</p> <p>○教科書から見られるQRコンテンツにはアプリと動画、画像等が1000以上ある。そのため、学校だけでなく家庭学習でも活用できるため、主体的な学びにつながる。また、デジタルアートカードを使って対話的な鑑賞に取り組むことができる。</p> <p>○1・2上「ともだちのさくひんをみてはなそう」5・6下「わたしとひびきあう」など、題材において、対話している情景写真や発表の様子が掲載されているとともに、友達と対話しながら鑑賞するページがあり、言語活動を促すことにつながる。</p> <p>○学びを広げるメッセージ動画のQRコンテンツでは、ものづくりに関わる様々な人たちのメッセージ動画があり、学びの先に何かあるのかを考えたり、児童の好奇心や探求心を刺激したりするきっかけになる。</p>
3 内容の配列・分量	題材の配列や分量には、どのような特色があるか。	<p>○学習指導要領の資質・能力である「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」について、低・中・高学年にわたって内容と育てた力がバランスよく構成されている。</p> <p>○題材数は20～25であり、学年に応じた題材の内容と分量となっている。</p> <p>○絵や工作が多い傾向が見られる。</p> <p>○低学年における鑑賞は、表現と鑑賞を一体的に扱っていることが多い。</p> <p>○1年では幼児期との接続ページ、6年では中学校との接続ページを設け、これまでの学びを振り返ることで、学びを自覚し次の学びへつなげる試みが見られる。</p> <p>○6年では、発明工夫につながる新製品やプログラミングを生かした作品など、学習したことを生かしながら、発想を広げる題材が取り上げる題材など、将来につながるキャリア学習となっている。</p>	<p>○教科書の左上に色別で題材の配列が示されており、各題材が写真や解説を含めバランスよく配置されている。</p> <p>○教科書の題材名の下に導入のこぼ、学習のめあて、ページ内にバランスよく、見やすい位置に表現のヒント、鑑賞のヒント、振り返りが示されており、児童の学習をサポートすることができる。</p> <p>○季節や発達段階に合った造形遊びの題材が豊富である。</p> <p>○各学年とも他教科との関連や学習内容を踏まえて題材の実践時期を考慮している。</p> <p>○児童の成長に寄り添うため、幼児期や中学校との接続に配慮した構成で、学年や発達段階に応じて系統的に題材が設定されている。</p> <p>○巻頭に授業開きができるオリエンテーションページがあり、最適なメッセージと導入題材が掲載されていて、指導しやすい。</p> <p>○各教科書20～24の題材で構成されており、領域がバランスよく配列されている。</p> <p>○地域や学校の実態に合わせて活動が選択できるように豊富な題材が掲載されている。</p>
4 表記・体裁	用語や写真、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	<p>○経験の浅かったり、専門外であったりという指導者にも使いやすい紙面構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きで題材が完結する構成となっており、視覚的に学習の流れが捉えられる。 ・準備物やタブレット、道具の使い方や技法のヒント、片付け方、振り返り、他教科との関連などが、どの題材でも同じ場所に配置されている。 ・教科書を見れば、保護者と児童が材料を準備することができる。 ・デジタルコンテンツが充実している。 ・教科書で授業を進めていけば指導差が大きくなる。 <p>○発想を広げ自分の表現を追究できるよう、多様な児童作品が配置されている。</p> <p>○見方や考え方を広げる鑑賞では、横尾忠則やワイエスなどやや踏み込んだ作品を取り上げている。名画をオマージュした作品なども紹介しているのが鑑賞に広がりをもたせている。</p>	<p>○色やイラストを効果的に組み合わせたマークにより、題材の内容や活動の全体像が理解しやすい。</p> <p>○見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを使用している。</p> <p>○各ページの下に制作に必要な材料がイラストで記されている。</p> <p>○「気を付ける点」と「片付け方」、「ふりかえり」についてページの下にわかりやすく枠をつけて記載している。</p> <p>○高学年では、活動の流れをより丁寧に写真や吹き出し等で示しているため、児童の思考を促し、表現方法を見つける手助けになる。5・6上「心のもよう」の題材では、上記に加え、思考の整理を促すツールや、既習学習の振り返りを促すツールなどたくさんの内容が掲載されているが、活動の流れが明確でわかりやすいページの構成になっている。</p> <p>○色覚の特性など多様な児童に対応するため、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○鑑賞では、小学校で押さえるべき作家や作品を取り上げている。</p>